

大阪南ロータリークラブ会報

第 799 号
2024 年 9 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11
マルニビル7階B
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 センタラグランドホテル大阪 3 階
会 長 草島 葉子 幹 事 ハッ橋 直

第 1 回クラブフォーラム

クラブ管理・運営部門

日 時：2024 年 8 月 20 日（火）
午後 17 時 30 分登録、午後 17 時 50 分開会
場 所：ザ・ガーデンオリエンタル大阪
都島区網島町 10-35 ☎ (6353) 8810
討議部門：クラブ管理・運営部門
形 式：バズセッション

- Cテーブル ◎山岡、菰田、河野、鈴木、
谷村、山本ハ
Dテーブル ◎新田一、堀、小倉、大熊、
下井、神藤
Eテーブル ◎栗原、樋口纏、長谷川孝、
岩崎、大原、ハッ橋
Fテーブル ◎橋本、川谷、清水、末澤、
上村、山本和
Gテーブル ◎杣、天野、寶來、桑原、
西本、米田秀
Hテーブル ◎岡本直、井原、岩谷、熊田、
中村、庄司
Iテーブル ◎持松、伊藤芳、森、田村、
横山慶、由谷
Jテーブル ◎鮫島、相川、黒田、岡村、
寺川、青山
Kテーブル ◎津田、原田、飯井、齊藤伸、
世古口、山田

議 題：

「われわれは、80 周年をどのような形で迎えるべきか」
～大阪南ロータリークラブとして、

目指すべき 10 年後の姿～

- ① 目指すべき 10 年後のクラブの適正な会員数は、
何人程度と考えられるか。また、その会員数を前
提として、想定されるクラブ運営・管理上の問題
点としては、どのようなことが考えられ、また、
その対処としては、どのようなことを検討すべき
か。
- ② クラブ運営・管理方法の見直し、諸物価の高騰そ
の他社会経済情勢の変化に対応して、適正な会費
等設定と支出の見直しをどのように考えるべき
か。

出席者（敬称略 順不同） 67 名

◎テーブルマスター

Aテーブル 草島、藤井、城戸、武田太、上甲、
松山、新開

Bテーブル ◎酒井、小畑、小八木、小椋、
奥長、坂口



1、開会挨拶：草島会長



2024-2025
のテーマ

THE MAGIC OF ROTARY:ロータリーのマジック ステファニー A.アーチック RI会長

「恕(おもいやり)の心を育む未来へ」～奉仕のところで奇跡を起こす～ 草島 葉子会長

今年度初めてのフォーラムに、このテーマでバズセッションをすることの意義を話され開会のあいさつとされた。また、時間を勘違いされ少し遅参されたことを陳謝された。

2、テーブルマスター指名：八ッ橋幹事



「観今宜鑑古、無古不成今」(今を見るとき古きを鑑みるべし 古がなければ今はない) という言葉を中国の古典文学から引用され、第1回目のクラブフォーラムが実りあるものとなるよう祈念され、乾杯の発声をされた。



3、初参加の新入会員紹介

坂口 敦会員、黒田 雅夫会員



4、ゼネラルリーダー議題説明：

上甲副会長

今回のフォーラム議題を用意された資料に基づき説明された。



5、乾杯：武田太元会長

6、テーブルマスター報告（発表順の通り）

Bテーブル：酒井会員増強副委員長

- ・テーブルに元会長がいらっしゃいますが、人数が少なかった時は予算的に厳しい思いをしたことのお話しをしていただき、現状は事業も充実していて素晴らしいという話がありました。
- ・規模については、200人、300人は経験したことがないので、これ以上増えたらどうなるかわからないという話もありながら、ある程度顔が見える人たちと一緒に事業に取り組んだ方がいいという話がありました。
- ・会費の件に関しては、本当に必要な時にあげればいいのかというお話や、タイミングよく上げないと、時機を逸すると上げられなくなるという話がありました。新入会員の方もおられたので、会費の印象をお聞きすると、少し高いと思ったということです。
- ・現実的には、参加者の比率などが、バラ

ンスが取れていて今いい状態にあるのかも
しれないという話がありました。

- ・大変だった時代の経験から、ある程度先手を打ってやっていかないといけないという意見でした。



Cテーブル：山岡会員友好副委員長

- ・適正人員をどう考えるかということについては、適正人員というものは、特にないのではないかという意見がありました。適正人員はないが質の維持が大事という意見でした。
- ・適正会費のお話ですが、物価に合わせて会費は上げてもいいのではないかというお話がありました。ただし、下げれる時には下げる勇気も必要になってくるというお話でした。
- ・運営方法については、ウェブの利用のお話が出ました。ウェブ利用について議論を進めて検討する必要があるのではないかということでした。また、貴重な卓話などは映像で残して、アーカイブとしていつでも聞けるように残すといいのではないかということでした。
- ・色々な委員会がありますが、大阪南独自の委員会があってもいいのではないかというお話がありました。



Dテーブル：新田一広報委員

- ・人数を増やす必要があるのかどうか、人数よりも質を高めてはいかかかという意見が出ました。
- ・対外事業が少ないので増やしたほうがいいという意見がありました。
- ・陰徳もわかりますが、もう少し活動していることを対外に発信するべきという意見がありました。
- ・毎週例会をする必要があるのかどうかという意見もありました。若い方は昼に出にくい方もいるので、一部でも良いので夜に例会をして、出席義務がないロータリークラブを目指してはどうかという意見がありました。
- ・他のロータリークラブの例会に出席をする義務（他のいろんなクラブを見て出席して、当クラブ以外にも目を向けていく）というのを作ってはどうかという意見がありました。



Eテーブル：栗原会員研修委員長

- ・大阪南は地区のリーディングクラブなので、会員数は収支のバランスがきちり取れた会員数がベターではないか。つまり、会員が何人ではなく、収入と支出のバランスのしっかり取れているものが望ましい会員数であるという意見が出ました。
- ・10年後、20年後にクラブが存続するために大事なことは、会員の年代バランスを考えた増強をするべきだという意見がありました
- ・会員全員が草島年度の方針のように全員が出席できる収支計画をしっかりと掲げていたいただきたいという意見がありました。



Fテーブル：橋本会員友好委員

- ・適正人数については基本的には200名でいいという意見でしたが、200人を超えると顔が見えなくなってくるので、それ以上増やすのはやめた方がいいという話でした。他方で、200人を維持すると言いながらも、少しずつ増やさないと、人口減少に耐えられないのではないかというような意見もありました。あと、具体的に現実的な話としては、会場の規模の問題で、200人を超えると入れないとの意見もありました。
- ・10年後も含めての話ですが、増やせるだけ増やして子クラブを作ればいいのではないかという話がありました。例えば夜に出席されたい方がいるのであれば、子クラブという形

で切り離し、もう1クラブ作るということも考えられるので、増やしてもいいのではないかという意見もありました。

- ・適正会費ですが、基本的には現状維持でいいのではないかという考えで、会費を増やすということは退会の口実になるのではないかという意見がありました。ただ、現状維持をするうえで物価上昇等の対応をするため、今後の話として、例えば、誕生日や、配偶者誕生日のニコニコ自体をもう廃止して、それを会費に上乗せする形にして、徴収するのはどうかという意見がありました。

- ・例会を毎年1回ずつ減らせば、10年経てば10回減るので、支出を減らせるのではないかという意見もありましたが、回数を減らすとホテルの1回あたりの単価が上がるのではないかという問題もあるので、回数を減らすのは難しいのではないかという意見となりました。毎回の例会を楽しみにされてる方もいらっしゃるので、そういう方のことも考えると、例会の回数は減らすのではなく、現状維持でやっていくべきだというお話です。

- ・運営の方法として、1つの案では夜のフォーラムについては一部受益者負担の制度を設けて収支を合わせるべきではないかというお話もありました。



Gテーブル：柚例会運営委員長

- ・適正な会員数ですが、一緒にみんなで参加

することが大事なので、具体的な数字になると、15 委員会で 10 名ずつとすれば 150 人、150 人プラス役員等 50 名で 200 人ではないかなとなりました。ただ、大阪南ロータリークラブとして、プレゼンスを地区の中で上げていくには会員数は増やしていかなければならないという意見も一部ではありました。

- ・クラブ運営をどうしていくかですが、200 人で顔と名前が一致しなくなる境界線だと思います。名前と顔が一致しないと面白くないだろうという話がありました。
- ・例会の運営方法を少し変えてはどうかという話が出ました。今の状態では 1 時間で内容が多いので、懇親をする時間がないという話もありました。ロータリークラブなので、懇親ができる（色々雑談ができて仲良くなれる）ことが主ではないのかという話で、1 時間に詰め込みすぎなので、もう少し例会で話をする時間を作ろうじゃないかということでした。
- ・どのように時間を作るかというところですが、元会長の方が、「会長の時間を考えるのがしんどい。毎週日曜日は地獄だ。」という話がありました。会長の時間を隔週にしてはどうかという意見です。2 週間あれば色々な出来事があり、皆さんにお話するネタも増えるということで、1 週目と 3 週目は懇親をし、食事をして卓話の時間にします。2 週目と 4 週目は従来通り会長の時間をとるというスケジュールでどうかという意見が出ましたので、今後の参考にさせていただければと思います。
- ・10 年後を考えるとということでは、他のテーブルでも出ましたが、今後 40 代の会員増強

をした方がいいという意見でした。



Hテーブル：岡本直例会運営委員

- ・適正な会員数ですが、増やす方がいいという意見は 1 人もいませんでした。中村年度の 1 年間、11 名減 34 名増の純増 23 人でした。意見としてはプラマイゼロでもいいとなりました。去年は 11 人減ったので、プラマイゼロということは 11 人入れることとなりますが、それも大変な努力が必要なので、200 人が維持できたら、それで十分だという意見です。
- ・200 人を 300 人、400 人にすればいいのかという話ですが、増えていくと、お名前も知らない、お話したこともないという人が多くなると思うので、200 人を維持するのがいいというのがコンセンサスだと思います。
「サピエンス全史」という本でユヴァル・ノア・ハラリが書いてますが、人類はグループを作ってそのグループが大きくなって進化してきたということです。その中で何人が適正人数かとの話があり、30 人程度が 1 番適正のようです。その次は 200~300 人で、大阪南の人数が 200 人前後なので当てはまっていると思います。他の人類学の研究によると、ダンバー数というものがあり、ディスカッションするには 5~6 人ぐらいがいい。今のテーブルでのバズセッション

の数字に当てはまっています。その次が 15 人から 20 人、その次が 50 人、その次が 150 ~200 人、その次が 500 人、その次が 1000 人という数字があり、誰が誰か顔がわかる数字が 150~200 人ということなので現状維持がいいと思います。

- 大阪南ロータリークラブにはサテライトクラブがありますが、本クラブは 200 人を維持し、サテライトを大きくしていったらいいという意見がありました。大阪南グループで 1000 人になるのは構わないという意見でした。そうすることが RI (国際ロータリー) の考え方を世の中に広めることになるのではないかというお話でした。



I テーブル：持松会員友好委員

- 適正人員ですが、6 人全てこれ以上増やすべきではないとなりました。大阪南の一体感を維持するには、人数が増えればいいということではなく、これ以上増えると厳しいと思います。顔と名前が一致するのが 150 人程度という話もあり、現状の規模でしっかりと活動するのがいいという話になりました。
- 会費ですが、現在の 30 万円が良いとか悪いとかではなく、30 万円の中でどうするかだと思います。例えば例会のあり方ですが、朝礼会をやってもいいと思います。例えば、パワーブレックファストではないですが、

朝 7 時なり 7 時半から軽い朝食を食べながら例会をやるのもいいと思います。これを取り入れている経済団体もあるので、ロータリーに取り入れる手もいいと思います。あと、昼の例会でもビュッフェ形式でやれば、食事が多いと思っている会員の方も食べすぎずに済むということもあります。例会のやり方を変えることで、うまく節約できる部分もあると思っています。

- 運営方法ですが、先ほども話が出ましたが、zoom などの web はあってもいいと思います。スクリーンを下ろすのにお金がかかるという話もありましたが、会場に来ていらっしゃる方は、見えなくてもいいのでスクリーンはいりません。zoom や teams を併用することで、本当は行きたいけれど行けない方も参加でき出席率も上がると思います。絆を繋ぐ意味では、そういう機会を持つておくことは悪いことではないと思います。リアルで会うことを否定するわけではありませんが、行きたいけれどどうしても行けない方のために利用してもいいと思います。
- 10 年後をどう考えるかですが、10 年後にも必要とされる大阪南ロータリーとは何かを考える必要があると思います。社会にとって必要とされるロータリークラブとは何かを突き詰めたらいいいと思います。今後の 1 つの課題として活動していけばいいと思います。



J テーブル： 鮫島例会運営委員

- ・ 適正人員についてそれぞれに聞きました。答えは 150 人、200 名以上、200 人、200～250 人、280 人、500 人ということでした。
- ・ 会費の件ですが、値上げは致し方がないという意見でした。3 年以内に 50 パーセントがやめていく（転勤の方もいらっしゃいますが）ので、そう考えると無駄なことをしているという話でした。
- ・ （10 年後） どういう未来を描くかですが、南ロータリーを日本で有名にする。年齢別の平準化を図りたいということで、40、60、50、70、80 代、平準化を図りたいという意見がございました。



K テーブル： 津田会員増強委員長

- ・ 適正人数は 200 人でいいということです。地区の樋口委員長が油断をすれば下がる卓話で言われたので、純増 5 名で増強人数は 20 人と考えていましたが、テーブルで 30 名必要と言われましたので、軌道修正が必要かと感じています。事務局に聞いたとこ

ろ、本日入会の 3 人の方以降は誰もエントリーがないようなので、ぜひご協力をよろしく願いいたします。オーナー経営者のご息子に入会していただくことが、確実に繋がっていくと思っていましたが、テーブルの意見では、親子で同時に同じクラブに入ることはあまりないとの意見を頂きました。

- ・ 適正会費に関して、30 万でいいという意見でした。財政状況を考えないとかそういうことではなくて、繰り越し金がたまっているので、ある程度赤字になった時にまた頑張ったらいんじゃないかという意見でした。
- ・ 200 人になると、よく若手の名前覚えられない、顔がわからないと言いますが、ぜひ覚える努力をしてください。皆さんよろしく願いいたします。
- ・ 何をすべきかですが、大阪南ロータリーは他のクラブと違い、皆さんが方針に汗をかいて骨を折るところがいいところだと思います。事業に参加した人が仲良くなり、「大阪南愛」が育まれると思いますので、これを続けていけばいいと思います。また、そういうことをフォーラム以外で常々考える人（行政改革大臣的な委員）がいてもいいと思います。



7、ゼネラルリーダー講評： 松山副会長

皆さん、お疲れ様でございました。講評に移らせていただきたいと思います。今日の議題は最初に上甲副会長がおっしゃったように、少しアンタッチャブルなところに踏み込んだ議題だと思っております。

これは、会長・副会長・幹事・役員が決まった段階で集まった時、今まで触れていなかったことに触れてみんなで考えないといけないという話が出、今日のフォーラムに繋がったというところです。昨今、Aテーブルも報告するという流れですので、Aテーブルで出ました話は、1番優先順位が高いのは何かということですが、皆さんのご意見に出ていたように、格式を1番大事にしないといけないという話が出ました。質の維持というところが大事であるということは皆様と同じ意見だと思います。しかしながら、経済的な問題が同時にあります。

では、その両方をどう進めていくかということですが、会費の問題、適正人員の問題というのも、皆様から色々意見が出たかと思えます。その手法についても色々な意見が出ました。収支バランスを取らないといけませんので運営方法を変える、例えばウェブの利用や毎週例会をする必要があるのかなどです。皆さんの発表にあった、ニコニコの廃止やフォーラムを受益者負担にするなども支出を減らす案です。

収入に関してですが、Aテーブルで出たのは事業費をニコニコで賄っているという現状の話です。本来ニコニコの使い方は、事業費そのものに使うものではなく、事業を盛り上げるためにプラスアルファで使う財源であって、一般会計に当たり前のように入ってる現状は良い形ではないと、今日

の皆さんのご意見を聞いて改めて思いました。支出を減らすか収入を増やす、どちらかの方法を取ることが格式を保ちながらロータリーを先々運営していく方法だと思いますので、今日のまとめとしては両方のバランスを皆さんで考えながら、継続してクラブをより良い方向に持っていくことが大事だということになるかと思えます。ありがとうございました。

8、閉会挨拶：新開会長エレクト

本来は閉会の挨拶は副会長が行いますが代理で挨拶をいたします。本日のフォーラムについては、先ほど副会長が非常に格式の高い講評をされましたので、中身についてはありませんが、草島会長が今年度で問題提起をするので解決は次年度でしてくださいとおっしゃいます。非常に重い宿題をいただきありがとうございますと思っております。大阪南の「伝統と格式」といいますが、それ以外に非常に魅力的なことがあります。それは非常に懐が深く、また地区では「やんちゃな」大阪南と言われているところです。最近若手の会員が増えていますが、ぜひとも新入会員の皆様、伝統と格式に押しつぶされないように、若い新たな発想で活動していただきたいと思えます。大阪南はそれを受け入れるだけの懐の深さがあると思っております。

例会から非常に長い時間お付き合いいただきまして、大変お疲れ様でございました。これを持ちまして閉会の挨拶と代えさせていただきます。ありがとうございました。

(文責： 副幹事 清水 久博)

◇ようこそ3君！会員総数 197 名（8月31日現在）

去る8月20日（火）に中沢 正和君、西川 真次君、瀧澤 信一郎君が入会されました。

8月定例理事会

協議事項

1. 台北中央RC周年記念式典について
2. 「恕（おもいやり）の心を育む講演会」の件
3. 新入会員交流懇親会の件

審議事項

1. 退会届の件
2. 新入会員候補者の件
3. 秋の家族会について
4. 職場見学会について
5. 前年度事業並びに会計決算報告の件
6. 2023-24年度大阪南RAC決算報告
2023-24年度大阪学院大学RAC決算報告の件
7. 大阪南なみはやロータリー衛星クラブ
2023-24年度決算報告の件
2024-25年度予算報告の件

報告事項

1. 第1回クラブフォーラム（クラブ管理・運営部門）
2. 南北交流懇親会について
3. 地区補助金事業進捗状況について
4. 「中学校の職場体験」について
5. 大阪南なみはやロータリー衛星クラブ年間スケジュール
6. 秋のRYLAセミナーについて
7. 大橋ガバナーと役員・理事との懇談会
8. 地区出向の件
9. 第43回大輪ゴルフ会の件
10. ニコニコの件
11. 事務局お盆休みの件
12. その他

ニコニコ箱へ

- 大阪 RC
土井 義宏 会員から ・メイクアップのお礼。父は40年前、ホテル南海でのRCに参加していました。
・フランス・リヨンで一昨日まで行われていた技能五輪国際大会で嬉しいことがありました。
- 一瓢 豊 会員から ・9月1日にお陰様で当社80周年を迎えることが出来ました。皆様方に感謝申し上げます。コーポレートスローガンは「未来をよくする工事中です。」
- 伊藤 勝彦 会員から ・大阪南RAC地区補助金事業、能登半島支援事業に参加して参りました。
新開エレクトのアイスクリーム協賛と寺川委員長の冷凍トラック提供ありがとうございました。
- 上甲 悌二 会員から ・菰田委員長、他ライラご参加の皆様、お疲れ様でした。
- 小八木規之 会員から ・草島会長、友好委員の皆さん南北交流懇親会ありがとうございました。
楽しかったです。
- 草島 葉子 会員から ・先日の南北交流懇親会、皆様楽しく盛り上げていただきありがとうございました。
白鳥プラス1のハワイアン更に磨きをかけて参ります!!
・週末のライラそしてRACの金沢チャリティ皆様ご協力ありがとうございました!!
- 松山 大祐 会員から ・南北交流懇親会、会員友好委員会の皆様ありがとうございました。
・RAC能登半島チャリティ事業、新開会長エレクトのアイス協賛、伊藤理事のバックアップ、寺川ローターアクト委員長の自社トラックの運送のおかげで盛況でした。お疲れ様でした。
- 小倉 宏之 会員から ・前年度最終例会欠席の為、誕生日祝いと入会記念日のニコニコを失念していました。
- 世古口佳典 会員から ・本日の卓話、よろしくをお願いします。
- 新開 隆浩 会員から ・妻朋子の葬儀に際し、多数の弔意やご参列をいただき誠にありがとうございました。
- 神藤 佳浩 会員から ・本日の卓話の橋本毅夫様よろしくをお願いします。
- 鈴木 慶一 会員から ・先日の南北交流懇親会楽しかったです。特に南のフラガールお疲れ様でした。
・先日のゴルフコンペで凶らずも優勝、さらに中村会長賞までいただきました。
同伴の渡津さん、持松さん、小松さん、はじめ、ご参加の皆様ありがとうございました。
- 武田 太郎 会員から ・南北交流懇親会ありがとうございました。素晴らしかったです。
- 上田 豊 会員から ・先週米倉さんが甲子園に応援しに行って以来、タイガースが好調です。米倉さんのおかげです。ありがとうございます。
- 山路 晃誉 会員から ・先日の南北交流懇親会に多数ご出席いただきありがとうございました！
また、7月からフラダンスのレッスンに励んでいただきました、白鳥会の皆様もありがとうございました！皆様のおかげで、無事ハワイアンナイトが開催出来ました。
次回は、家族会、よろしく願いいたします。
- 山本佳誌枝 会員から ・お休みが続きすみませんでした。よろしくをお願いします。
- 横山順治郎 会員から ・今月の21日から秋の全国交通安全運動が始まります。交通ルールを守り安全運転を心がけましょう！

米倉 彦之 会員から ・テーブル懇親会を欠席し、阪神タイガースの応援に行きました。申し訳
ありませんでした。お陰様で阪神快勝!!

本年度目標額 600万 9月 17日現在 累計 1,733,810 円